

令和2年度 姫路市内におけるブルーベリーの開花調査について

研究背景 姫路市農業振興センターでは令和2年度よりブルーベリーの経済栽培を推進しているが、収益性を確保するためには同系統で同時期に受粉でき、長期間、断続的に収穫できる品種の組み合わせを知って栽培することが重要である。そこで市内の気候における開花期を調査し、受粉樹の候補となる品種の組み合わせを調査し、グラフ化した資料を作成した。

成果要約 系統別では、ラビットアイ系が最も開花期が長く、系統内の品種間差も少なく、最も受粉率を高められる組み合わせだと言える。

今後の展望 今後は系統を絞った上でデータの精度を上げる。収穫期の調査も行い、断続的な収穫を計画するための資料作成を検討する。

概要 【ブルーベリーの花】(系統名:ラビットアイ系)



・花芽



・開花前



・開花後(調査対象)

【調査方法】

センター内27品種61株の開花期間を以下の基準で調査した。

- ・開花開始日:開花開始後、約20%の花芽が開花した時
- ・開花完了日:開花開始後、約80%の花芽が開花した時

【調査結果】

・サザンハイブッシュ系が全系統の中で最も開花が早く、ラビットアイ系に比べれば開花日数は短く、また同系統内での開花期のバラつきが小さかった。別添資料の品種による組み合わせであれば受粉に適すると考えられる。

・ノーザンハイブッシュ系はラビットアイ系と同等の開花の早さであったが、開花期がサザンハイブッシュ系と同程度に短かった。また一部、同系統内での開花期のバラつきが大きく、早生型のウェイマウスと晩生型のジャンボ・ジャージー等との組み合わせは避けるべきと考えられる。

・ラビットアイ系は、ハイブッシュ系よりも開花日数が長く、同系統内の開花期のバラつきは大きいものの、いずれの品種とも受粉が可能と考えられる。本市の温暖な気候を考慮すると、開花の特性から見ても、本系統で品種を取り揃えることが収益性を高めるために有効と考えられる。

【ブルーベリーの系統別の開花日数の比較】

系統名	品種数	本数	開花開始日	開花日数	開花平均日数	備考
サザンハイブッシュ系	7	12	3/23~4/8	19~24日	21.5日間	
ノーザンハイブッシュ系	7	7	4/3~4/28	18~27日	21.4日間	
ハイブリッド系	1	1	4/3	21日	21日間	ピンクレモネードのみ
ラビットアイ系	10	39	4/4~4/12	18~38日	28.7日間	
ハーフハイブッシュ系	1	1	4/28	16日	16日間	ノースランドのみ

表 ブルーベリー系統別の開花開始日と開花期間

事業名 本調査・研究は、令和2年度 農業振興センター 農業振興事業（果樹特産化推進事業）により実施しました。

問合せ先 ☆詳しい情報を知りたい、という方は下記までお気軽にご連絡ください。
 姫路市役所 産業局 農林水産部 農業振興センター 〒679-2111 兵庫県姫路市山田町多田1174番地47
 電話番号:079-263-2220 ファックス:079-263-2708 E-mail:engei@himeji.city.lg.jp